

幸手を元気に！

住みたくなるまちづくりへ

Vol.10 令和4年12月発行



令和4年9月 幸手市議会一般質問から

「市の財源の有効活用と天神の湯」について



Q.

坂本質問：

市の行政課題は色々ある。本庁舎の耐震性の問題、消防署建替えの問題、都市計画道路整備の問題、洪水対策の充実、学校給食補助の拡大など。しかし、財源不足のため市は、十分な対応ができない。

天神の湯の収支は、毎年度約2500万円～3500万円の赤字。(年度ごとの運営状況は裏面のとお)

天神の湯を廃止し、そこに投入した財源を市の課題解決に回すべきである。木村市長の所見を伺う。

A.

木村市長答弁：

天神の湯は「幸手市公共施設個別施設計画」において、第Ⅱ期(令和11年度～令和21年度)中に廃止することとしている。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館に始まり、その間に生じた設備の不良により、令和2年12月27日の営業を最後に、休館を余儀なくされている状況にあるが、私からは担当部局に対して「個別施設計画」における将来的な位置づけを前倒して、早期のうちに廃止することを前提とした検討を行うよう指示した。



木村市長答弁を聞いて、坂本達夫の意見

お風呂の問題は個人や民間施設で行うべきもの。市が毎年これだけの税金を投入して行うべきではない。早期に廃止し、本来、行うべき市の事業に集中すべきである。

9月議会終了後、11月22日、議員全員協議会で、市は来年6月末をもって、天神の湯の廃止方針を示した。適切な判断といえよう。



「天神の湯」管理運営状況一覧表

年度	開館日数 (日)	利用者数 (人)	使用料収入 (千円)	支出				収支差額 (千円)
				業務委託料 (千円)	光熱水費 (千円)	修繕料 (千円)	計 (千円)	
2021 (令和3年)	0	0	0	14,825	8,038	5,221	28,084	△ 28,084
2020 (令和2年)	171	23,129	3,693	25,070	10,110	4,348	39,528	△ 35,834
2019 (令和元年)	330	93,860	15,747	24,843	15,066	2,790	42,701	△ 26,953
2018 (平成30年)	347	96,762	16,142	25,317	14,697	1,636	41,651	△ 25,509
2017 (平成29年)	346	95,140	15,766	25,317	14,197	2,255	41,771	△ 26,005

※ 百円以下の金額を切り捨てるため、合計した金額が一致しない場合があります。



時代背景と「天神の湯」について

「天神の湯」がオープンしたのが、2005年(平成17年)4月4日である。現在まで17年が経過した。当時の人口は、54,006人であった。年齢別人口構成をみると、少年人口(0歳～14歳)比率は11.9%、生産年齢人口(15歳～64歳)比率は、69.7%、老年人口(65歳～)比率は17.5%であった。

現在の人口は、49,475人である。年齢別人口構成をみると、少年人口比率は9.6%、生産年齢人口比率は、54.9%、老年人口比率は35.5%である。

時の経過により大きな変化をもたらした。老年人口比率は倍増し、生産年齢人口比率は約15%も低下した。

生産年齢人口比率の減により、市の歳入確保も難しい局面を迎えている。幸手市には、的確な行政運営が求められ、「天神の湯」廃止はこのような時代背景に対応した判断といえよう。



さかもと たつお
坂本達夫

〒340-0163
埼玉県幸手市中川崎1-3
電話: 090-1242-0867
メール: sattegenki@gmail.com
ホームページ: sattegenki.com

役職等

- ・幸手市体育協会長倉支部役員
- ・長倉小学校応援団員
- ・埼玉県地球温暖化防止活動推進員
- ・中川崎保全組合員
- ・幸手市民環境ネット役員
- ・中川崎共楽会役員

プロフィール

昭和28年幸手生まれ
幸手小、幸手中、幸手商業高卒業
昭和47年埼玉県庁入庁
昭和50年埼玉大学経済短大卒業(夜間)
平成26年埼玉県庁退職
平成27年幸手市議選得票数 748票
平成31年幸手市議選得票数 1402票
(初当選)